

## 令和7年度学校評価の目標

本年度の 重点目標	「あい」のあふれる学校 ～愛・I・合い～ 1 高い人権意識をもった教職員による、安全で安心な教育環境の整備 2 一人一人に応じた適切な指導と必要な支援による教育の充実 3 新しいことに対して、工夫・連携・協働・発信することで、同僚性の高い働きがいのある学校づくり		
担 当	重点目標	具体的方策	留意事項
小学部	対話的・体験的な活動を通じた社会性の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な実態把握から身に付ける力を考えた体験的な活動を重視した授業実践</li> <li>・実体験や疑似体験を通じた気持ちの表出とコミュニケーションツールを活用した意思表示をとおした対話的な活動の充実</li> <li>・継続的な取組や未経験の活動体験を通じた生活力の向上及び校外学習などでの社会経験の深化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の社会生活を踏まえた授業展開や活動内容を考える。</li> <li>・児童の気持ちを代替えしたり自発的な反応を待ったりして、意思疎通の楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・スモールステップで成功体験を積み上げ、地域資源の活用を図る。</li> </ul>
中学部	学習者主体の授業を通じた表現力や判断力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身の表現や反応、発言、行動から活動の流れをつくることを意識した授業づくり</li> <li>・「社会とのつながり」や「対話」、「協働」を重視した活動の推進と生徒が互いに学び合う環境の創出</li> <li>・学習者主体の授業づくりを支える視点を共有するための職員間の対話の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「誰の」「何のための」活動であるのかという本質を常に意識する。</li> <li>・生活に結び付く体験的な学習を行う際は、「どのような力を身に付けさせたいのか」を教科の視点から明確にする。</li> </ul>
高等部	卒業後の自立や社会参加を見据えた主体的に行動する資質や能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の発達段階や特性等を踏まえた知・徳・体のバランスの取れた指導実践</li> <li>・保護者や外部機関との積極的な連携・協働による教育目標の達成</li> <li>・職員間の同僚性を向上による高等部のチーム力の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の適性や主体性を生かすよう留意する。</li> <li>・校内の体制整備や連携先との打合せでは目的意識、計画、役割分担などを明確にする。</li> </ul>
訪問教育	人との関わりを楽しむ力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を使った児童生徒同士や取り巻く人との関わり合いの機会拡充</li> <li>・意思や感情の表出、コミュニケーション力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や学校職員との関わり合いに関心をもつことができるような活動内容を計画的に設定する。</li> </ul>
総 務	業務、儀式的行事等の方向性の見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容、役割分担の可視化</li> <li>・儀式的行事の目的・意義の明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインツールを活用し情報共有を行うとともに、役割分担や業務内容を整理する。</li> </ul>
教 務	学習指導要領の教科の視点を意識した目標・内容の設定と適切な学習評価の実施の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害部門の様式の作成と併せた、肢体不自由部門についての授業づくりに生かされる各計画等の様式の検討</li> <li>・教科の視点や3観点による授業の目標・内容の設定や、学習評価の方法についての校内周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信や長期休業中の研修等の活用を検討する。</li> </ul>
研 修	「学習者主体」の研究と研修の充実及び情報共有の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知肢併置に向けた知的障害分野への知識理解の促進</li> <li>・研修内容や方法の精選</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究や研修を通じて、肢体不自由分野だけではなく、知的障害分野の研修機会も提供する。</li> </ul>
教育情報	教育活動、学校業務における ICT 機器活用の推進  児童生徒が本を身近に感じられる図書室環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間における情報共有効率化の推進</li> <li>・教育活動における活用方法の発信強化</li> <li>・図書の行事や啓蒙活動を通し、図書室や読書への興味・関心の拡大</li> <li>・配架の仕方を工夫するなど、読書意欲を高められる環境づくり</li> <li>・児童生徒の興味・関心、実態に合わせた図書の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用を進めるとともに、情報セキュリティにも配慮する。</li> <li>・読書週間への様々な関わり方を促したり、季節やテーマに沿った案内・展示を行ったりする。</li> <li>・見やすく、手に取りやすいように本の配架の工夫をする。</li> <li>・本のアンケートを随時行い、児童生徒の実態に合った本や話題の本を購入する。</li> </ul>
生徒指導	防災・防犯に関する取組の充実と物品の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種訓練に向けた啓発活動や事前事後学習で使用できるプレゼンテーション教材などの準備。</li> <li>・知肢併置に向けて、安全対策（防災・防犯）について検討、準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態に応じた内容で準備できるようにする。</li> <li>・安全対策に必要な物品を洗い出す。</li> </ul>

進路指導	卒業後の生活を視野に入れた適切な進路指導の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望調査を基にした担任による懇談と必要に応じた進路指導部が対応</li> <li>・進路選択を支援するための最新情報や卒業生の寄稿を掲載した進路だよりの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談は個々のニーズに応じて実施し、進路指導部と連携を取る。</li> <li>・最新情報を正確に収集し、児童生徒や保護者に有益な情報を提供する。</li> </ul>
保健体育	職員間の連携をもとにした安心安全な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な立場や職種の意見を尊重、こまめな打合せやケース会の実施</li> <li>・安全衛生、危機管理の意識の高揚と持続化</li> <li>・知肢併置に向けた運用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員だけでなく、保護者や学校医、指導医とも連携相談する。</li> <li>・グループウェアや掲示版を通して、必要な情報を発信し、啓発を促す。</li> </ul>
教育支援	校内支援及び地域支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、外部機関、専門家、関係職員との連携を推進する支援会議等の実施と支援についてのチームでの検討</li> <li>・「あゆみ相談」等を通じた地域の学校が活用しやすい支援の在り方の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会や支援会議のねらいや進め方、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを活用する手順を示し、チームで対応し有効に活用できるようにする。</li> </ul>
自立活動	自立活動の実践に関する情報や研修会の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校研修、夏季研修等の充実と研修内容の共有</li> <li>・自立活動相談や支援機器相談等の関係機関との連携と活用</li> <li>・自立活動における ICT 機器の活用と情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家の助言を学校生活の中で生かし、児童生徒の成長へとつなげる。</li> <li>・各研修やグループウェアで必要な情報を提供し、日々の指導における課題解決に寄与する。</li> </ul>
その他	知肢併置に向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談、体験入学、説明会等をはじめとする知的部門開設の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員、肢体不自由部門及び知的障害部門の児童生徒と保護者が見通しをもち、安心して新年度を迎えられるように、説明会や職員研修の機会を設ける。</li> </ul>
<b>学校関係者評価を実施する 主な評価項目</b>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもを主語にした指導・支援の充実</li> <li>2 防災・防犯意識の向上と危機対応力の強化を踏まえた健康で安全で安心な学校づくりの実践</li> <li>3 切れ目のない継続した支援の充実のための地域及び関係諸機関との連携</li> <li>4 いじめ防止に関する会議の定期的開催及び児童生徒の丁寧な実態把握によるいじめの未然防止</li> <li>5 教職員間の連携と協働による教育活動の充実と業務のスリム化による教職員の多忙化解消</li> </ol>	